

福みえ 社え

伝える
つながる
ひびきあう

7
2021 July
No.362



名張市の公立保育所さまより、子供たちのつくった素敵な作品のお写真をいただきました。

もくじ

- 特集：令和2年度 三重県社協 事業報告・決算の概要…………… 2
- 令和2年度 三重県社会福祉事業職員共済会事業報告 …………… 5
- 連載：福祉めし…………… 6
- information…………… 7
- ありがとうメッセージ…………… 8



ふれあいネットワーク

特集

令和2年度 三重県社会福祉協議会 事業報告・決算の概要

令和2年度は、新たな地域福祉活動支援計画・強化発展計画「新ウェルビーイングみえプラン」の1年目として、新たな枠組みに基づき、様々な事業を展開しました。今回の特集では、主な事業の評価及び今後の課題と、決算の概要について報告します。

基本目標

地域共生の基盤づくり

推進項目

- 1 支え合う地域づくりの支援
- 2 多様な主体との協働
- 3 総合的な相談支援機能の強化

事業評価

●市町村協の運営の支援については、地域福祉活動推進協議会を3回開催し、様々なテーマにおいて

協議、情報交換を行うことができました。昨年度に引き続き災害対応検討部会を設置し、大規模災害時に円滑に相互応援ができる仕組みづくりを構築することができました。また、三重県から受託した相談支援包括化推進員等養成事業では、各種研修をオンライン開催としたことで、多くの行政・社協職員に参加いただくことができました。

●種別協議会との連携・協働については、年度前半においてはほとんどの事業を中止とし、実施が必要な総会や会議のみ書面審議で実施しました。年度後半には、オンライン研修など、方法や計画を変更しながら事業を実施しました。これまでになく対応となりました。これが、役員、会員等の協力と理解を得ながら、できる範囲で活動をすることができました。

●社会福祉法人の公益的な取組（みえ福祉の「わ」創造事業）の推進については、新型コロナウイルス感染症の影響で、生活困窮者支援

緊急食糧提供事業と緊急時物品等支援事業が大きく伸長し、一定の役割を果たすことができました。

●生活福祉資金の貸付事業については、新型コロナウイルス感染症拡大のかる緊急小口資金等の特例貸付の申請件数は18,272件となり、15,886件5,591,067,500円の貸付を決定しました。令和3年8月末まで申請受付は継続し、感染拡大第4派の到来とともに申請数が再び増加すると見込まれます。教育支援資金の申請者の中にも特例貸付の利用者が多く、感染症の家計への影響の大きさが伺えます。

今後の課題

●重層的支援体制整備事業が令和3年度から施行され、三重県では、実施予定自治体が5市町、移行準備事業実施予定自治体が4市町あることから、県とさらに協働しながら、引き続き幅広い知識や実践的なスキルを学ぶ機会を設

けて、市町行政・社協職員の資質向上の支援に取り組むことが求められます。

●各種別協議会事業の推進については、コロナ禍が続く中で、さらなるICT活用が必要と考えられます。各種事業を円滑に進めるため、実施者として更なる学びが必要です。また、研修等に参加する各施設、事業所ではまだオンラインでの受講に慣れていない方も多く、受け手のICT知識のレベル差が大きい状況です。当面は詳しくない方も参加する前提で丁寧な説明を行っていく必要があります。

●生活福祉資金の貸付については、著しく増大した債権の適切な管理と、今後、特例貸付の免除要件が発出される予定であるため、これらに対応するための人員配置並びに予算確保が必要です。



オンラインでの会議の様子

基本目標 2

持続可能な社会福祉の 仕組みづくり

推進項目

- 1 福祉人材の確保・就労支援
- 2 福祉人材の定着支援と育成
- 3 質の高い福祉サービスに向けた支援

事業評価

●三重県福祉人材センター運営事業、福祉・介護人材マッチング支援事業では、ここ数年新規求職登録者数が減少傾向だったことに加え新型コロナウイルス感染症の影響で、相談窓口への来訪者数の減

少や事業・イベントの中止等のため、求職登録者数が減少しました。それに伴い、紹介数や就職者数が減少しています。

●多様な人材の福祉分野への参入促進については、介護に関する入門的研修及び介護有資格者再チャレンジ研修をWeb研修形式にしたため、場所や時間の制約がなく受講が可能であったことからコロナ禍においても感染拡大の懸念なく実施でき、かつ、在職中の方や交通手段を有さない方といった会場研修への参加が難しい方に多く受講いただきました。

●福祉人材の専門性の向上については、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、研修会は延期や中止となったものもありました。実施した研修会では、新型コロナウイルス感染症の影響により申込数は減少しましたが、アンケートによる研修への評価はおしなべて好評でした。

今後の課題

●三重県福祉人材センター運営事業、福祉・介護人材マッチング支援事業では、求職者が減少しているため、初任者研修受講者などの求職者を確実に就職へ導く支援を行う必要があります。また、就職フェアについては、多くの求職者が参加しやすい方法を検討する必要があります。

●企業・団体向けの研修である介護に関する入門的研修（テーマ別研修）については、今年度、申込みがなく実施に至らなかったため、企業・団体への広報の仕方や営業におけるアプローチ方法など検討の必要があります。

●キャリアパス対応生涯研修については、コロナ禍において本来の学習目標の習得が難しい状況となっており、その解決策を模索する必要があります。また、研修を受講することのメリットを広く伝えるため、効果測定調査など調査研究を行い、メリットを明らかにしたうえで広く発信していくことが課題となっています。

●企業・団体向けの研修である介護に関する入門的研修（テーマ別研修）については、今年度、申込みがなく実施に至らなかったため、企業・団体への広報の仕方や営業におけるアプローチ方法など検討の必要があります。



オンライン研修用動画撮影の様子

基本目標 3

災害時に備えた支援活動の充実

- #### 推進項目
- 1 災害時に備えたネットワークの構築・基盤強化

事業評価

●三重県災害派遣福祉チーム（DWAAT）養成研修には、災害時における福祉支援への意識の高まりもあり、定員をはるかに超える申し込みがありました。

●災害ボランティア活動の支援については、みえ災害ボランティア支援センターとして、新型コロナウイルス感染症に配慮した受援ガイドラインを策定に取り組みました。

今後の課題

●三重県DWAATや三重県広域受援計画（第5章 介護職員等の受入れに関する計画）の体制整備については、訓練プログラムを使った図上訓練や、関係機関と連携した実地訓練が求められます。

●市町社協、福祉施設・事業所における災害対応強化の支援については、事業所におけるBCP策定について、重点的に取り組んでいく必要があります。

令和2年度 決算の概要

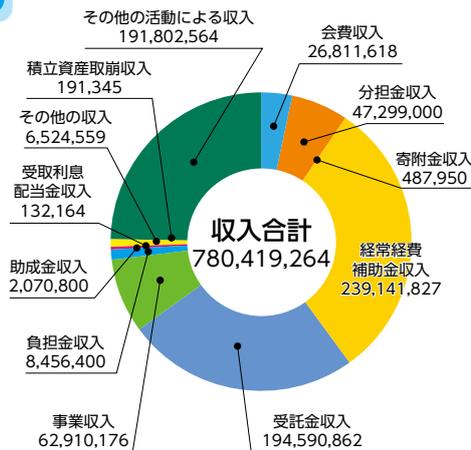
法人単位資金収支計算書（一部抜粋）

本会財政は、会費収入、関係団体からの分担金収入、県補助金収入、県受託金収入、全社協からの負担金収入、研修会等参加費収入からの繰入金収入が主となっています。

令和2年度の一般会計決算は、収入の合計が約7億8千万円、支出合計が7億4千万円で、当期末支払資金残高は約4千万円となりました。

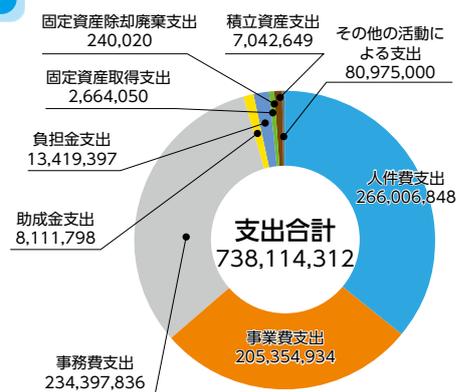
収入

(単位：円)



支出

(単位：円)



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

令和3年度

全国200万人
加入!!

保険金額・年間保険料（1名あたり）

保険金の種類	プラン	
	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)
	入院保険金日額	6,500円
	手術 入院中の手術	65,000円
	保険金 外来の手術	32,500円
	通院保険金日額	4,000円
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷	× ○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)
年間保険料		350円 500円

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

商品パンフレットは
コチラ
(ふくしの保険ホームページ)



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763
受付時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

令和2年度

三重県社会福祉事業職員共済会

事業報告

一財) 三重県社会福祉事業職員共済会では、県内の民間社会福祉事業に従事する職員が安心して働くことができる福祉現場となるよう、退職手当や福利共済給付を行っています。また、福祉職場の福利厚生の実施を目的として、福利厚生センター各種事業を実施しています。

退職金等給付事業

令和2年度 会員異動状況

入会者数：1,819名

退会者数：1,557名

総会員数：14,886名 (令和3年3月31日現在)

※総会員数には事務手続き上、反映されていない退職者を含みます。

退職給付金支給件数/金額

普通退職	1,348件	860,059,278円
死亡退職	5件	2,649,990円
公務傷病・死亡退職	1件	-円
会員掛金負担分返還	229件	4,973,987円
合計	1,582件	867,683,255円

見舞金給付件数/金額

死亡弔慰金	5件	250,000円
災害見舞金	1件	-円
合計	5件	250,000円

福利厚生センター (ソウェルクラブ) 事業

福利厚生センター加入状況 (令和2年10月1日現在)

139法人 / 7,230名

① 会員交流事業

令和2年度の会員交流事業はツアー関係(宿泊、日帰り)の他、グルメランチ、各種チケットの割引販売等を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業を中止しました。このため、事業中止に係る財源を基に会員全員(令和2年10月1日現在)にプリペイドカード(7,152枚)を配布しました。

② 地方委託講習会

東海北陸ブロックの会員を対象にレクリエーションや広報などのテーマで講習会を実施していましたが、令和2年度は新型コロナウイルス下院選症拡大防止のため開催しませんでした。

財産目録

資産の部		科目	金額
流動資産	預金	308,618,665円	
	未収金	55,751,300円	
固定資産	基本財産	3,000,000円	
	退職者管理システム等	4,223,265円	
	信託財産	13,244,781,070円	
資産合計		13,616,374,300円	

負債の部		科目	金額
流動負債	前受金	32,103円	
	未払金	2,370,956円	
固定負債	固定負債	13,610,971,241円	
負債合計		13,613,374,300円	
差引正味財産		3,000,000円	

財産状況

① 退職手当金必要額 (令和3年3月31日現在)

要退職給付総額：12,212百万円 総資産額：13,616百万円

税引後資産額：12,250百万円 充足率：100.3%

② 退職手当積立金 (令和2年3月31日現在)

支払備金+数理債務：14,268百万円 退職給付引当金：12,170百万円 積立率：85.3%

ご飯で元気に!

福祉
めし

第2回

この連載では、福祉施設や団体で提供・販売をしている食事を紹介していきます。

就労継続支援 A 型事業所 カーサ・アルモニ

「日替わり弁当と マクロビクッキー&ジャム」



就労継続支援 A 型事業所カーサ・アルモニでは約 10 名の方が働かれています。

今回、取材にご協力いただいたのは、代表取締役の森田亘さんです。

立ち上げたきっかけ

カーサ・アルモニは、桑名市で 20 年以上営業しているイタリアンレストラン「パスタ デ コンチェルト」が母体となって運営しています。

オーナーでもある森田社長は、5 年ほど前から企業向けにお弁当販売を行っていたことから、県立くわな特別支援学校ともつながりができ、市内にも様々な障害福祉施設があるということを知りました。それと前後して社長のご家族の方に障害があることが分かり「将来、社会と関わる場所が必要だ」という想いから、事業所の立ち上げを決意します。こうして、3 年前に就労継続支援 A 型事業所としてスタートしました。



イタリアンレストラン「パスタ デ コンチェルト」

レストランの名前でもあるコンチェルトにはコンサートという意味があり、また事業所の名前であるアルモニには調和という意味があります。コンサートのように仲間が一緒に調和しながら、楽しく仕事ができるように考えています。

日々のお弁当のメニュー決めやイベントで販売する商品を検討するときには、社員からも利用者からも意見を出し合って、一緒に決めていきます。障害のあるなしに関わらず、互いにコミュニケーションを大切にしていこうと心がけています。

それと同時に、利用者の方にあつた仕事を作りながら、色々なことに挑戦してもらい、スキルアップ、ステップアップにつながるように働いてもらうことも意識しています。お弁当をきれいに盛り付けることができたり、利用者のアイデアをもとにした商品が人気になることでお客様にも喜ばれ、利用者もさらにやる気につながっています。

おすすめ商品の紹介

カーサ・アルモニでは、日替わりのお弁当などの製造・販売を行っています。

毎朝 400 個のお弁当の調理、盛り付けを利用者の方と一緒にやっており、お昼までに用意するのは大変ですが、美しい盛り付けにもこだわって提供しています。

また、森田社長のナチュラルフードコーディネーターの資格を活かして、乳製品や卵を使わないこだわりのマクロビクッキーと、地元のみかんを使ったマクロビジャムを商品化し、お弁当とともに販売しています。当初は小さい子供向けにと思ったクッキーでしたが、体に良いことから年配の方にも評判が良く、イベント出店や市内に構えるアルモニカフェでも人気の商品となっています。

利用者と社員が共に作った美味しいお弁当に健康志向のクッキーやジャムを、皆さんも是非手に取ってみてください!



日替わり弁当を盛り付けている様子と
おすすめ商品のマクロビクッキーとジャム

information

株式会社綿清商店（わたせい）様からマスクをご寄贈いただきました

株式会社綿清商店様から、生活困窮者支援等を目的に「マスク2万枚」をご寄贈いただきました。

このマスクは、6月3日から、わたせい全店で展開されている「マスクポストプロジェクト」を通じて集められたものです。

ご寄贈いただいたマスクは、本会及び市町社会福祉協議会等において、生活困窮世帯に届けるなど、県内の福祉活動に活用いたします。

誠にありがとうございました。



(左) 株式会社綿清商店 …………… 取締役社長 曾我 江里子 様
(右) 三重県社会福祉協議会 …………… 会長 井村 正勝

職場体験事業の受入施設を募集しています！

三重県福祉人材センターでは、福祉のおしごとに関心のある方に実際の職場を体験する機会を提供し、知識・理解を深めていただくことにより円滑な就労支援、福祉職場への人材参入を促進することを目的に職場体験事業を実施しています。

受入施設として登録していただける場合や、ご不明な点をご連絡ください。

募集施設

三重県内の社会福祉施設（高齢・障がい・児童＜保育所・園含む＞）

募集期間

令和3年5月～令和4年2月（予定）

年間を通じて体験希望者からの申込みを受付け、日程調整のうえ2～10日の間職場体験をしていただきます。

体験者

福祉、介護の仕事に関心のある方（これから就職を考えている方や福祉関係の資格を有しながら福祉関係の仕事に就いていない方、学生等）

その他

- ・受入施設には、「職場体験受入負担金」として、体験者1人あたり5,892円/日をお支払いします。
- ・事故等に備えた保険加入の手続きは当センターが行います。
- ・体験希望者の意向に沿って受入施設を決定しますので、受入施設の登録をさせていただいても、受入のない場合があります。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策上、支障がある間は休止することがあります。

お問い合わせ 三重県福祉人材センター 職場体験事業担当
TEL 059-227-5160 FAX 059-222-0170

令和3年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ぶくしの保険 検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の 事故・紛争円満解決のために！

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

基本補償(賠償・見舞)

▶ 保険金額		基本補償(A型)		見舞費用付補償(B型)	
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円		
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円		
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円		
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円		
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円		
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円		
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円		
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円		
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度		
	傷害見舞費用			死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円	

保険期間1年

▶ 年額保険料(掛金)		
	定員	基本補償(A型)
補償本(A型)	1~50名	35,000~61,460円
	51~100名	68,270~97,000円
	100名以降1名~10名増ごと	1,500円
付見舞費用(B型)	基本補償(A型) 保険料	+
		【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円



です。 割安な保険料 充実した補償と スケールメリットを活かした

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 施設職員の補償

プラン4 社会福祉法人役員等の補償

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
(引受幹事 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課 保険会社)
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)



ありがとうメッセージ

心も一緒に届いています

特定非営利活動法人 チャイルドヘルプラインMIE ネットワーク 令和元年度一般配分

子ども支援者養成講座の開催

子ども支援者養成講座を今年度は30人という少人数で開催しました。講座の様子を撮影し、県内8地域で研修を行いました。一緒に活動している方どうしが集まり、話し合うことで、日常の現場の出来事と結びつき、研修の効果がありません。コロナ禍の中、やり方を工夫することで、地域でたくさんの方に向けて研修ができました。ありがとうございました。



社会福祉法人 尾鷲市社会福祉協議会 令和元年度一般配分

腕章を使った見守り活動

私たちの地域に20年以上続く見守り活動～あったかふれあい訪問～で使用する腕章を購入しました。ボランティアの意識が高まるとともに、次の世代の方たちに知っていただく機会にもなります。新型コロナの影響で一時訪問活動も自粛していましたが、「こんな時だからこそ」とみんなで話し合い活動を再開しています。共同募金を活用させていただきありがとうございました。



発行人／井村 正勝

編集人／松本 利治・広報委員会

発行所／社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

〒514-8552 三重県津市桜橋2丁目131

TEL：059-227-5145 FAX：059-227-6618

URL：https://www.miewel-1.com/ E-mail：info@miewel.or.jp

編集協力／株式会社アイリック

2021年7月号(通巻362号) 令和3年7月発行

「福祉みえ」は三重県社協のホームページでもご覧になれます。また、広報に関するご意見・ご感想は、E-mailにて受け付けております。